

令和5年度 社会科3年 年間指導計画

			知識・技能	社会的な思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
〔歴史〕第6部 二度の世界大戦と日本 (公民) 第1章 私たちの暮らしと現代社会					
4月	2章	歴史 第一次世界大戦と日本	(歴史) 第一次世界大戦の背景とその影響, 民族運動の高まりと国際協調の動きや我が国の国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化などを基に, 第一次世界大戦前後の国際情勢及び我が国の動きと, 大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解している。経済的世界的な混乱と社会問題の発生, 昭和初期から第二次世界大戦の終結までの我が国の政治・外交の動き, 中国などアジア諸国との関係, 欧米諸国の動き, 戦時下の国民の生活などを基に, 軍部の台頭から戦争までの経過と, 大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解している。 (公民) 現代社会における文化の意義や影響について理解している。	(歴史) 戦争に向かう時期の社会や生活の変化, 世界の動きと我が国との関連などに着目して, 事象を相互に関連付けるなどして, 近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し, 表現している。近代後半の日本と世界を大観して時代の特色を多面的・多角的に考察し表現している。 (公民) 位置や空間的な広がり, 推移や変化などに着目して, 文化の継承と創造の意義, について多面的・多角的に考察し, 表現している。	(歴史) 近代後半の日本と世界について, よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究している。 (公民) 私たちが生きる現代社会と文化の特色について, 現代社会に見られる課題の解決を視野に入れ, 現代社会を捉える枠組みについて, 現代社会に見られる課題の解決を主体的に社会に関わろうとしている。
5月	3章	公民 第1章 私たちの暮らしと現代社会			
	1節	私たちが生きる現代社会			
	2節	現代につながる伝統と文化			
	4章	歴史 軍国主義と日本の行方 アジアと太平洋に広がる戦線			
〔歴史〕第7部 現在に続く日本と世界					
6月	1章	敗戦から立ち直る日本	冷戦, 我が国の民主化と再建の過程国際社会への復帰などを基に, 第二次世界大戦後の諸改革の特色や世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解している。 経済成長, 国際社会との関わり冷戦の終結などを基に, 我が国の経済や科学技術の発展によって国民の生活が向上し, 国際社会において我が国の役割が大きくなってきたことを理解している。	諸改革の展開と国際社会の変化, 政治の展開と国民生活の変化などに着目して, 事象を相互に関連付けるなどして, 現代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し, 表現している。 現代の日本と世界を大観して, 時代の特色を多面的・多角的に考察, 表現している。 これまでの学習を踏まえ, 歴史と私たちとのつながり, 現在と未来の日本や世界の在り方について, 課題をもって多面的・多角的に考察, 構想し, 表現している。	現代の日本と世界について, よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究し, 解決している。
	2章	世界の多極化と日本の成長			
	3章	これからの日本と世界			
(公民)					
7月	第1章	私たちの暮らしと現代社会 3節 私たちがつくるこれからの社会	現代社会の見方・考え方の基礎となる枠組みとして, 対立と合意, 効率と公正, 人間は本来社会的存在であることを基に, 個人の尊厳と両性の本質的平等, 契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任について理解している。	位置や空間的な広がり, 推移や変化などに着目して, 文化の継承と創造の意義, 対立と合意, 効率と公正などに着目して, 社会生活における物事の決定の仕方, 契約を通した個人と社会との関係, きまりの役割について多面的・多角的に考察し, 表現している。	私たちが生きる現代社会と文化の特色について, 現代社会に見られる課題の解決を視野に入れ, 現代社会を捉える枠組みについて, 現代社会に見られる課題の解決を主体的に社会に関わろうとしている。
9月～10月	第2章	個人を尊重する日本国憲法	日本国憲法が基本的人権の尊重, 民主権及び平和主義を基本原則としていることや, 日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解している。 個人の尊重についての考え方を, 基本的人権を中心に深め, 民主的な社会生活を営むためには法に基づく政治が大切であることや, 法の意義を理解している。 平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して, 国の安全と生存を保持しようとする願い, 日本が国際紛争解決の手段として戦争を放棄し, 陸海空軍その他の戦力を保持しないことを決意したことについて理解している。	対立と合意, 効率と公正, 個人の尊重と法の支配, 民主主義などに着目して, 我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義, 基本的人権を中心とした個人の尊重の考え方や, 民主的な社会生活を営むことの意義, 国の防衛・安全と世界平和を確立し実現することの意義について, 多面的・多角的に考察し, 表現している。	個人の尊重についての考え方や日本国憲法の基本的原則などについてや, 現代社会に見られる課題の解決, 基本的人権を守ることや法に基づく政治の意義などについて, 現代社会に見られる課題の解決, 未来にむけた世界の平和の構築のために, 具体的な活動に取り組んでいる人々の姿から, 人間の生命の尊さ, 平和の尊さを自覚し, 国際社会における平和の構築などについて, 現代社会に見られる課題の解決を視野に入れ, 主体的に社会に関わろうとしている。
10月～11月	第3章	私たちの暮らしと民主政治	議会制民主主義の意義や多数決の原理とその運用の在り方, 国会を中心とする我が国の民主政治のしくみのあらましや政党の役割について理解している。 国会は, 国権の最高機関であり, 国の唯一の立法機関であることや, 内閣については, 我が国が議員内閣制を採用していること, 法に基づく公正な裁判の保障があること, 三つの権利が均衡を保ちながら果たしている役割, 地方自治の基本的な考え方や, 首長と議会の二つの機関を中心に行われる地方自治体の政治のしくみや住民の権利や義務について理解している。	対立と合意, 効率と公正, 個人の尊重と法の支配, 民主主義などに着目して, 民主政治の推進と, 公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加, 将来の主権者として主体的に政治に参加することの意義や, 法に基づく裁判の保障, 民主的な政治と政治参加に関わる課題, 地方自治体が果たしている役割や地方財政のあり方などについて多面的・多角的に考察, 構想し, 表現している。	民主政治と政治参加について, 現代社会に見られる課題の解決, 民主的な国の政治のしくみや政治参加の方法, 司法権の独立と法による裁判が憲法で保障されていることなどについて, 現代社会に見られる課題の解決, 地方自治体で行われている実際の政治と身近な暮らしとの関連や, 地域の政治に参加することの意義などについて, 現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
11月～12月	第4章	私たちの暮らしと経済	身近な消費生活を中心に, 経済活動の意義や流通のしくみ, 現代の生産のしくみや企業のしくみと役割, 勤労の権利と義務, 労働組合の意義及び労働基準法の問題とその改善のあり方, 市場における価格の決まり方と資源の配分, 現代の金融のしくみやはたらき, 財政及び租税の意義, 国民の納税の義務について理解している。	対立と合意, 効率と公正, 分業と交換, 希少性などに着目して個人や企業の経済活動における役割と責任や流通機構の変化, 企業の経済活動における役割と責任や, 社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善, 市場メカニズムが公正にはたらくために必要な条件や制度, 金融機関の果たす役割や財政及び租税の役割について多面的・多角的に考察, 構想し, 表現している。	身近な消費生活や流通のしくみと経済活動とのつながりについて, 現代社会に見られる課題の解決, 企業がもつ社会的責任や, 社会の中で働くことの意義などについての解決, 市場の働きと経済についての解決, 国民生活における金融機関や財政の果たす役割について, 現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
1月	第5章	私たちの暮らしと経済	社会資本の整備, 公害の防止など環境の保全, 少子高齢社会における社会保障の充実・安定化, 消費者の保護について, それらの意義, 公害など環境汚染や自然破壊の問題とその改善のあり方, グローバル化が進む国際社会における日本の貿易の過去と現状, 地域社会の現状など, 日本経済のこれからのあり方や課題の解決に考えを深めていくための知識を理解している。	対立と合意, 効率と公正, 分業と交換, 希少性などに着目して, 市場の働きに委ねることが難しい諸課題に関して, 国や地方自治体が果たす役割, 環境保全の問題, グローバル化する国際社会における日本, 地域経済の活性化など, これからの日本経済のあり方や課題とその解決について多面的・多角的に考察, 構想し, 表現している。	国民生活に社会保障が果たす役割について, 現代社会に見られる課題の解決, 環境保全の問題, グローバル化する国際社会における日本, 地域経済の活性化など, これからの日本経済のあり方や課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
2月	第6章	国際社会に生きる私たち	国際社会において, 領土(領海, 領空を含む), 国家主権, 国際連合の働きなどの基本的な事項を中心に, 国際協調の観点から国家間の相互の主権の尊重と協力, 各国の相互理解と協力及び国際連合をはじめとする国際機構などの役割, 地域紛争とその背景, 地球環境, 資源・エネルギー, 貧困など国際社会が抱える多くの課題の解決のために, 国際社会全体の経済的, 技術的な協力などが大切であることを理解している。	対立と合意, 効率と公正, 協調, 持続可能性などに着目して, 日本国憲法の平和主義を基に, 我が国の安全と防衛, 国際貢献を含む国際社会における我が国の果たすべき役割, 地域紛争とその背景, 地球環境, 資源・エネルギー, 貧困など国際社会が抱える多くの課題の解決のために, 我が国の果たすべき役割について多面的・多角的に考察, 構想し, 表現している。	国際社会の平和と秩序を維持していくために, 国際機構が果たす役割の大切さや, よりよい社会を築いていくために, 国や企業, 民間団体や個人でもできる国際支援の在り方などについて, 現代社会に見られる課題の解決, 現代の国際社会が抱えるさまざまな課題について, 現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
3月	終章	私たちが未来の社会を築く		社会的な見方・考え方を働かせ, 私たちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題を多面的・多角的に考察, 構想し, 表現している。	私たちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題について, 現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

評価方法

知識・技能	社会的な思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査, 確認テスト, 小テスト	定期考査, 確認テスト, 小テスト, レポート, 行動観察	ノート, レポート, 行動観察